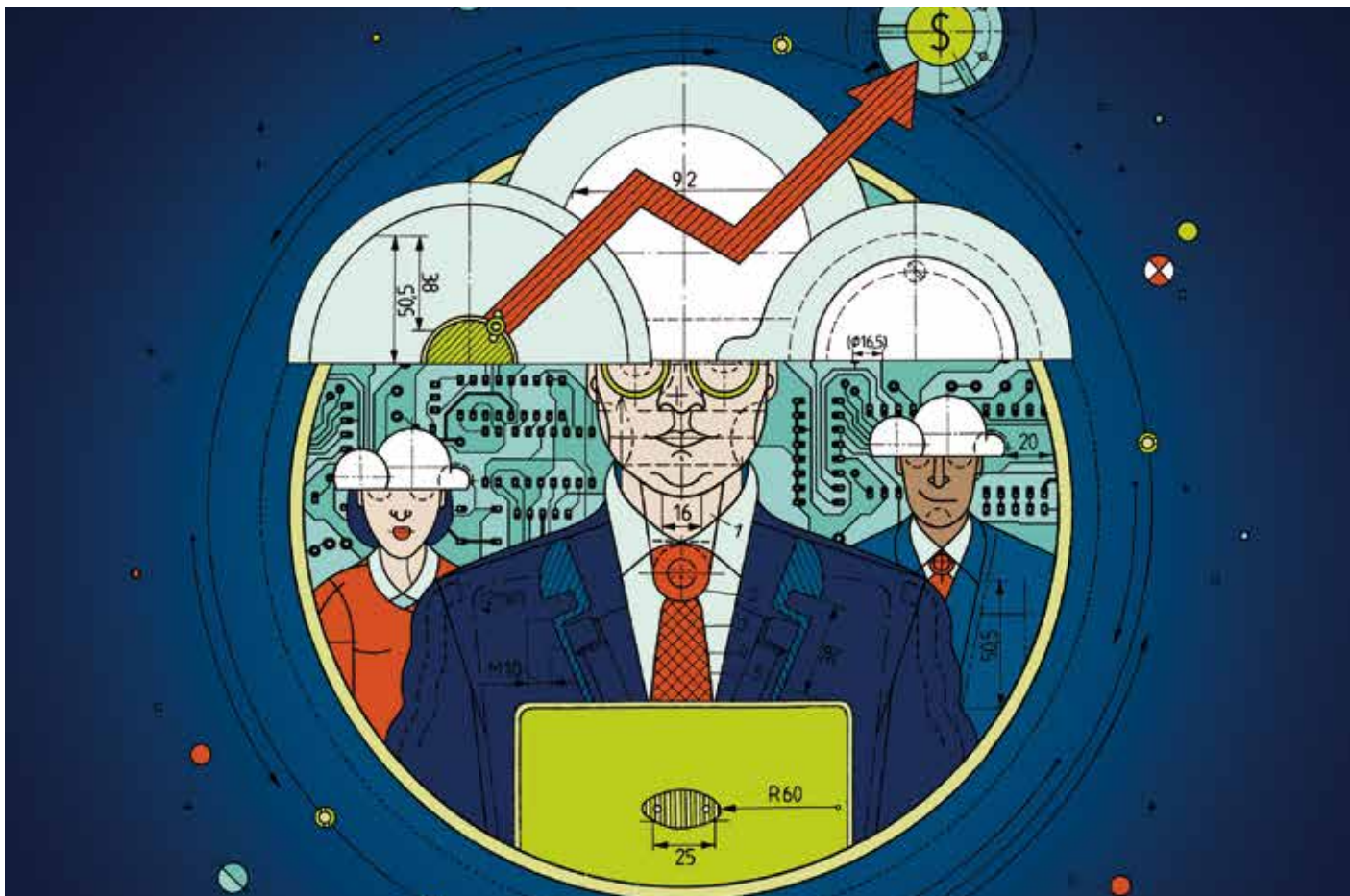


クラウドマイグレーション

グローバル版：

クラウドマイグレーションの市場予測：Cloudの可能性はCloudy？



クラウドコンピューティングの市場は過去10年間で著しく成長し、2015年は前年比三桁の成長を遂げるほどの規模だった。大手パブリッククラウドプロバイダの成長率は、2019年末までに年率“わずか”31%に低下¹し、業界が成熟する2020年と2021年にはさらに緩やかに伸びが鈍化すると予測されていたにもかかわらず、クラウドの成長率は他の多くの分野を上回ってきた。

2020年には、COVID-19のパンデミックとそれに伴う世界的な景気後退の影響で複数の分野で支出が削減されたことを考えると、クラウド関連の支出が数ポイント減少したとしても不思議ではない。だが実際は、クラウド市場は驚くべき回復力を見せた。いくつかの指標によると、2020年のクラウド市場の成長率は少なくともほぼ横ばいで、現代史上最も急激な経済収縮に直面していたにもかかわらず、試算によっては2019年よりも急速に増加している。

その背景には、COVID-19がもたらしたロックダウンの影響で、「どこからでも仕事ができる状態」(WFA: Work From Anywhere) に対す

る需要が増大していることがある²。デロイトでは、企業がコスト削減、機敏性の向上、革新の推進といった理由のためにクラウドへの移行を進める中、クラウド市場の収益の成長率は2019年のレベル（つまり、30%を超える成長率）以上の水準を2021年から2025年まで維持すると予測している。

COVID-19の影響で企業のクラウド利用が後押しされ、このかつてないほど強力なパンデミックの影響を克服して市場が拡大する可能性が高い。クラウド事業者やエコシステムに関わるプレイヤーが、クラウド利用の増加によって事業成長や発展の機会を得る一方で、クラウドユーザーは事業価値を創造するための新しいクラウド利用方法を追求することができる。既にクラウドは新たなコンピューティングアプローチの一手段という位置づけを超えて、近い将来には、あらゆる種類のビジネスにおいて標準的な業務システムとしての位置づけになっていくと考えられる。

1. Deloitte analysis of quarterly and annual financial statements.
2. Benedict Evans, “COVID and forced experiments,” April 13, 2020.

グローバル版本文

The cloud migration forecast: Cloudy with a chance of clouds

<https://www2.deloitte.com/us/en/insights/industry/technology/technology-media-and-telecom-predictions/2021/cloud-migration-trends-and-forecast.html>